

ASK ニュース

Vol.0231

2016年12月12日(月)

担当：MS事業部 北野

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

アイデア・ブック

はじめに

豊かな創造力は、新しい商品を生み出します。新しいアイデアを考えている時にひとつの本を見つけました。フレドリック・ヘレーン氏の「スウェーデン式 アイデア・ブック」です。今回は、この本についてお伝えしたいと思います。

基本的な条件を除く

新しいアイデアを考える方法として効果的なのは、ある活動を行うのに要求される基本的な条件を書き出し、そのうち1つを取り除いてみることだと筆者は考えています。例えば下記の例のように。

ストックホルムのタクシー運転手に要求される基本的な条件は下記2つです。

- ①道路に詳しい
- ②車の運転ができる

いつも不足気味のタクシー運転手解消のために①の条件を外して、道順を乗客が案内する代わりに乗車料金を8割にするシステムを取り入れました。なぜなら、乗客の9割が行先までの道順を知っているからです。これにより、②の条件だけ持っている人が仕事に就けたので失業者が減り、タクシー待ちの行列も解消されたそうです。

このように、基本的な条件は必ず必要だという考え方を捨て、もしかしたらいらなくてもいいと考えることで新しいアイデアが生まれるこ

とがあります。

イライラのもとを見つける

何かにイライラした時にイライラのもとを解消するのは、簡単ではないことが多いためこのままでも構わないと人は思いがちです。

しかし、実は、このイライラの原因を理解し、それを解消するアイデアがあれば新しいビジネスチャンスにつながるのです。

イライラする人が多ければ、それに対する新しい製品やサービスの市場も大きくなります。電話をひとつみても、留守番電話・番号通知サービス・携帯電話等どれをとっても、もとは、それぞれのイライラがあったから出てきたサービスだと思います。

頭がさえる場所

筆者が頭のさえる場所として挙げているのは、創造性の4Bとしてバー(Bar)、バスルーム(Bathrooms)、バス(Bus)、ベッド(Beds)です。

ここでのポイントは、会社で仕事をしている時には絶対でないことです。リラックスしている時にこそ「ひらめき」があるということです。

おわりに

この本を参考にリラックスできる場所で既成概念を外して、新しい企画や製品、サービスを考えてみるといい「ひらめき」があるかもしれません。皆様も一度、試してみてください。